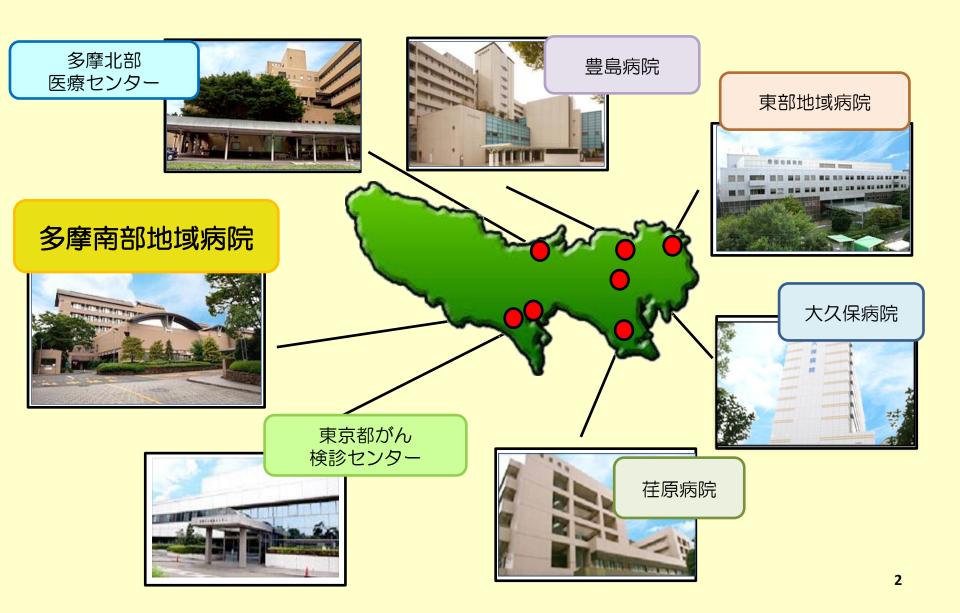
医療機関の新型インフルエンザ対策に関する取組事例②

(公財)東京都保健医療公社 多摩南部地域病院 感染対策部門 感染管理担当看護師長 感染管理認定看護師 金丸 亜佑美

(公財)東京都保健医療公社



(公財)東京都保健医療公社 多摩南部地域病院

病床数 287床

(HCU6床、緩和ケア病棟16床)

19診療科

看護体制 7対1看護方式

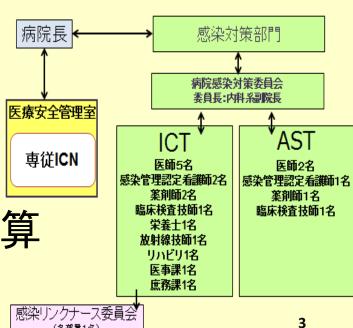
平均在院日数8.1日(H29年度)

H24 感染防止対策加算1

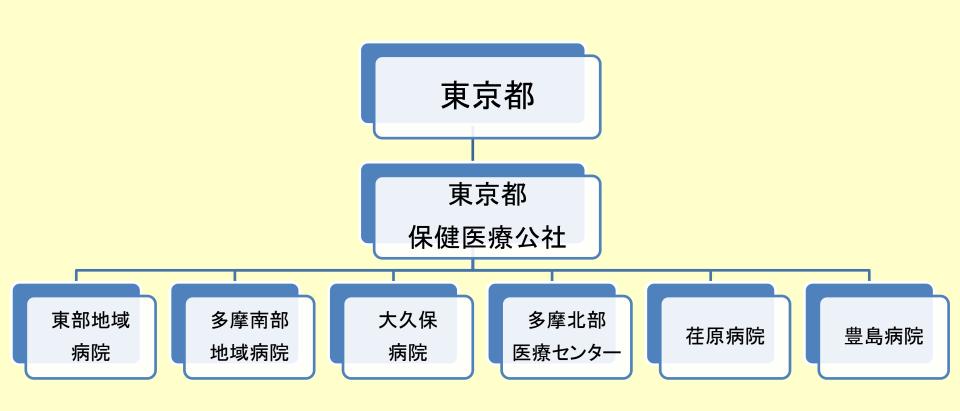
感染防止対策地域連携加算

H30 抗菌薬適正使用支援加算





BCPとマニュアルの位置づけ



新型インフルエンザ対応マニュアル

I 新型インフルエンザについて

- 1 新型インフルエンザとは
- 2 基本的な感染防止対策
- 3 発生期の考え方
- 4 新型インフルンエンザ対策の体制

対策本部や 部門別の役割

Ⅱ 新型インフルエンザの診療、入院への対応

【都内発生早期】

- 1 多摩南部地域病院における新型インフルエンザの診療体制
- 2 通常診療における呼吸器疾患患者のトリアージ
- 3 外来での診療

【都内感染期(第1ステージ~第3ステージ)】

- 1 概要
- 2 通常診療におけるトリアージ
- 3 外来での診察
- 4-① 入院時の対応(第1ステージ) / 4-②入院時の対応(第2・3ステージ)
- 5 検査と治療

Ⅱ は現場が関わるのでとても重要 訓練での経験をもとに改訂

新型インフルエンザ対応マニュアル

Ⅲ職員の健康管理

- 1 診察・ケア等に従事した職員の対応
- 2 職員が発症した場合の対応
- 3 職員の家族が発症した場合の対応
- 4 海外渡航・渡航後職員の対応

特定接種に関し 追加予定

Ⅳ サーベイランス体制・発生届について

1 サーベイランス体制

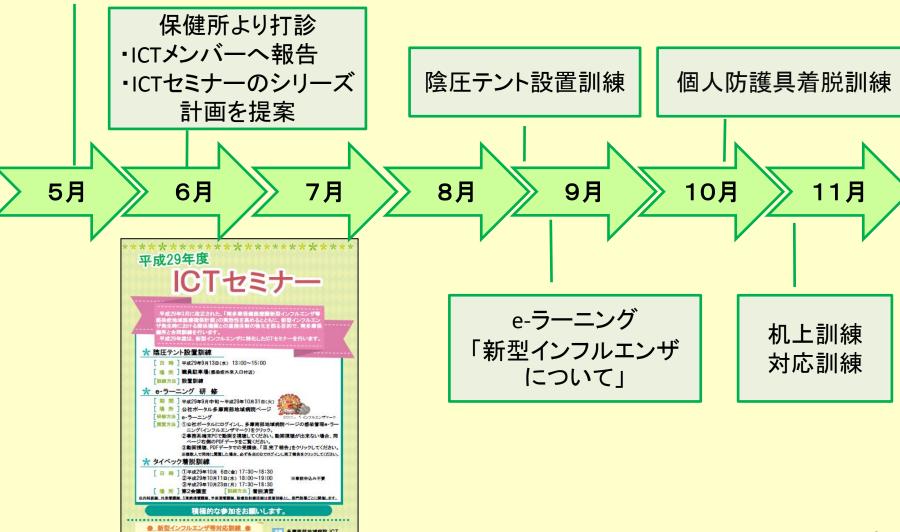
資料

- 1 診療科別医療連携体制
- 2 突然の発熱・咳・下痢・嘔吐症状がある患者さんへの問診票
- 3 防護具の着脱手順

新型インフルエンザ等対応に関する学習会

対応訓練までの経過

- ICT年間計画立案
- ・マニュアル改訂
- •模擬訓練

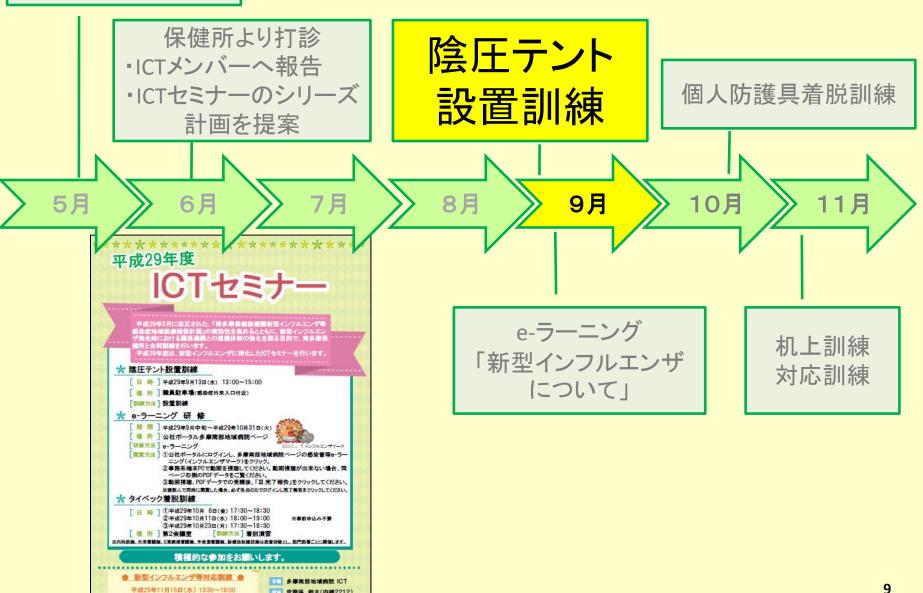


应務係 鈴木(内線2212)

ICT年間計画立案

- •マニュアル改訂
- •模擬訓練

対応訓練までの経過



庶務係 鈴木(内線2212)

陰圧テント設置訓練

【対象】事務・コメディカル・設備・守衛の男性職員 【対象者選定理由】

- 平日の日中勤務している職員を主体としたため、 幅広い職種とした
- テントは4m×5m×2.8mと大きいため男性とした

【設置時のポイント】

- •使用目的を考え、設置場所を決める
- ・電源の場所
- •室外にトイレがない場合の導線

設置の流れ



感染症外来近くの職員駐車場を確保





専用のモーターで空気を入れ支柱を 組み立てる



完 成





課題

(1)詳細な運用の構築

診察待機場所として、何名利用できるか、テント内で使 用するイスや簡易ベッドの運搬・設置は誰が行うか

②安全性

- 医療者の目が行き届かない可能性がある
- 駐車場に設置であり、乗用車や救急車の出入りがある
- ビニールシートを敷くと段差がわかりにくい



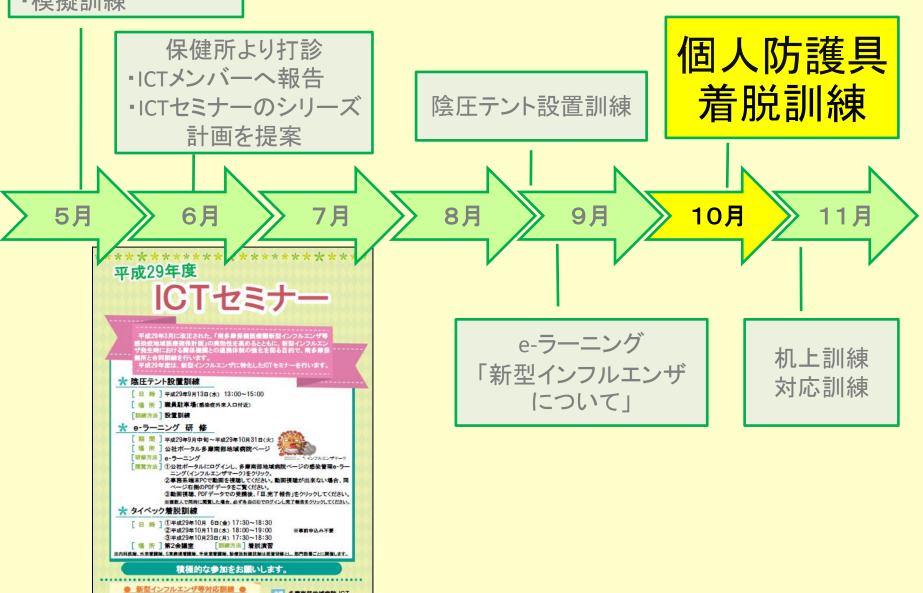
ICT年間計画立案

平成29年11月15日(水) 13:30~16:00

庶務係 鈴木(内線2212)

- ・マニュアル改訂
- •模擬訓練

対応訓練までの経過



個人防護具着脱訓練

【対象】

新型インフルエンザ疑い患者へ接触する可能性の ある職員

※受講必須職員

<u>内科・小児科医師、外来・内科病棟・手術室看護師、放射線技</u> <u>師、ICTコアメンバー、感染リンクナース</u>

ICTコアメンバーに習得してもらうことで、 訓練時、実践時の指導者としても活躍が期待できる

【開催】

- ① 必須職員…部門ごと参加可能な日時で調整し開催
- ② ①以外職員…3回開催

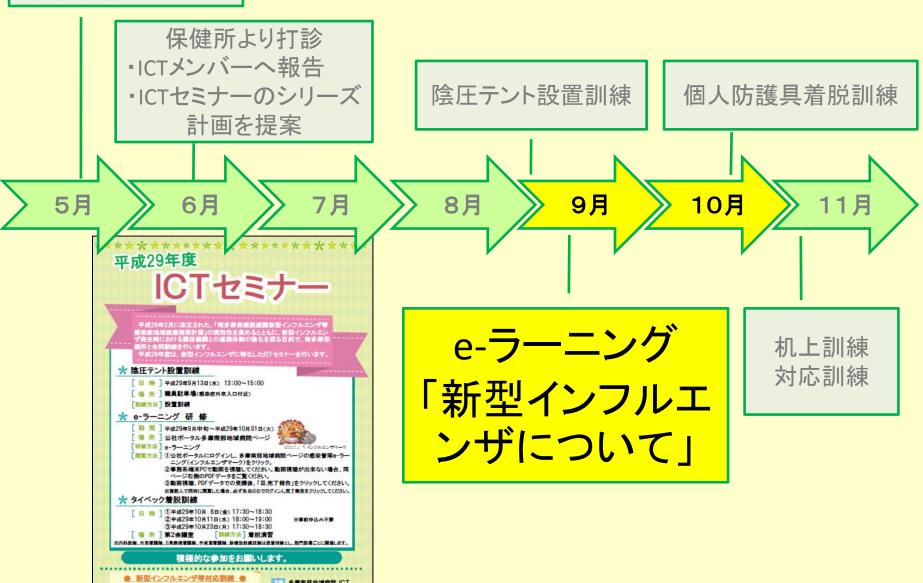
ICT年間計画立案

平成29年11月15日(水) 13:30~16:00

庶務係 鈴木(内線2212)

- ・マニュアル改訂
- •模擬訓練

対応訓練までの経過



eラーニングによる研修

【対象】全職員

【期間】約1ヶ月半

【方法】

- ①イントラネットに内蔵されている<u>e-ラーニング</u>を活用
- ②イントラネットにログイン権限が無い職員は書面

【内容】15分程度で学習できる内容

- ①新型インフルエンザの成り立ち
- ②発生段階と感染予防策
- ③特定接種

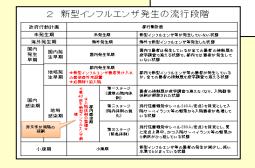
新型インフルエンザ ~模擬患者受け入れ訓練の前に~

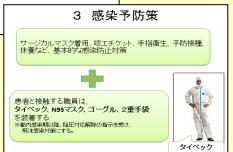
院内では初めての活用。

興味をもち受講できるよう

活用した。

平成29年度 ICTセミナー

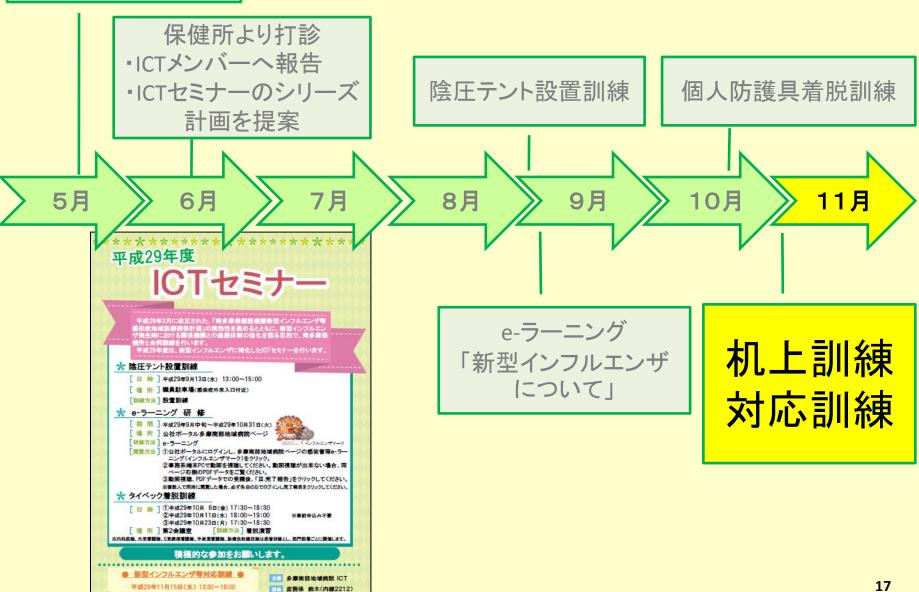




ICT年間計画立案

- •マニュアル改訂
- •模擬訓練

対応訓練までの経過



対応訓練までの計画

日程		活動	内容	備考
7月	上旬	第1回打ち合わせ	シナリオの検討	
	中旬	シナリオ作成(病院・保健所ごと)		
	下旬	シナリオ案 集約		
8月	上旬	第2回打ち合わせ	シナリオ共有・意見交換 必要物品の確認	
	下旬	シナリオ修正		
9月	上旬	第3回打ち合わせ	シナリオの確認 当日の運営(役割分担確認)	
	下旬			
10月	上旬	第4回打ち合わせ	直前最終確認	
	下旬			
11月	上旬			
	中旬	訓練本番		18

症例とシナリオ

45歳 男性

【経過】3日間新型インフルエンザ発生国に滞在し、 昨日帰国。2日前に現地の有症状者との接触あり。

【症状】熱38.5℃、咳、咽頭痛、倦怠感、関節痛

場面1

• 病院を直接受診

場面2

• 疑似症例の発生とアラート対応の開始

場面3

• 疑似症患者への対応

場面4

• PCR検査の結果判明~感染症指定医療機関への移送

訓練当日 役割分担

訓練参加者(プレイヤー)				
多摩南部地域病院 15名				
院長(1)	副院長(2)			
担当医師(1)	ICN(1)			
初診受付看護師(1)	救急外来看護師(2)			
病棟看護師(3)	放射線技師(1)			
臨床検査技師(1)	事務職員(2)			
南多摩保健所 8名				
民間救急搬送業者 2名				

訓練運営担当				
多摩南部地域病院 6名				
運営総括	プレイヤー管理			
場面ナレーション	場面表示			
撮影•記録	見学者誘導			
ICNへ進捗報告				
南多摩保健所 4名				
運営 2名	撮影•記録(院内)			
	撮影•記録(保健所)			

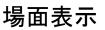




訓練運営担当の役割

担当(ICTでの役割)	内容
運営総括(ICD)	進行の監督
プレイヤー管理(薬剤師)	プレイヤーへ進捗報告、アドバイザー
場面ナレーション(ICN)	見学者へ、場面の説明
場面表示(管理栄養士)	プラカードで場面の表示
見学者誘導 (事務職員·臨床検査技師)	見学者の誘導、来院者へ案内
ICNへ進捗報告(事務職員)	プレイヤーであるICNへ進捗状況の報告







【場面1】病院を直接受診

初診受付で問診 海外渡航歴を確認



医師・ICNへ、新型インフルエンザ 発生国から帰国後であることを報告





- ・ICNは医師と協議し、感染症外来への隔離を指示
- ・外来看護師は、感染症外来の環境 整備(ゾーニング)を実施

感染症外来の環境整備(ゾーニング)



イス

23

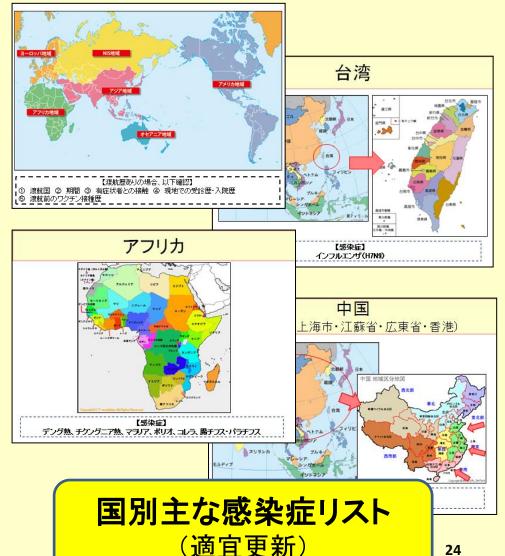
問診時の海外渡航歴確認は 共通認識ができる媒体を用意

突然の発熱・咳・下痢・嘔吐症状がある患者さんへの問診表

- 分かる範囲で配入してください。配入後、再度医師、看護師より詳しく伺うこともあります。

お名前:





院内滞在者と交わることがないよう

院外を通り感染症外来へ行く

新型インフルエンザの可能性を 考え、防護具を着用

インフルエンザA判明

検査科より、医師とICNへ連絡

臨時病院感染対策委員会 開催



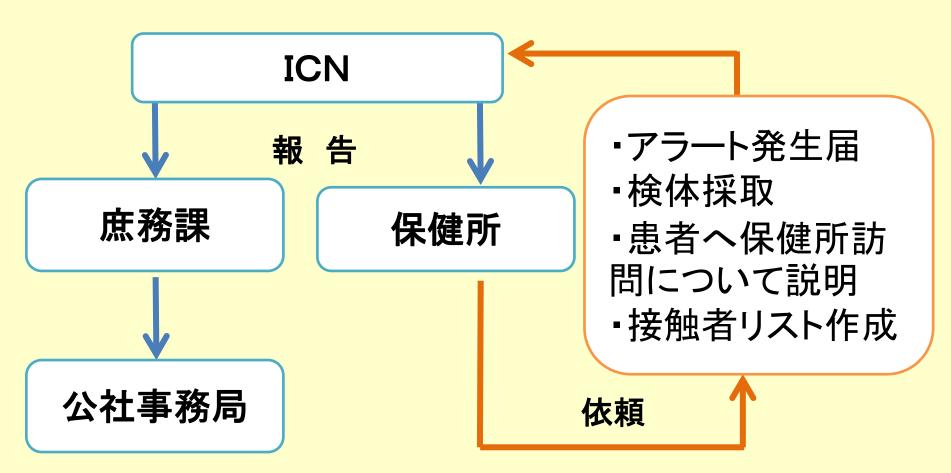




【場面2】

疑似症例の発生とアラート対応の開始

臨時病院感染対策委員会



【場面3】疑似症患者への対応

検体を保健所職員へ 渡す

健康安全研究センターで検査(想定)

検査結果を待つため、感染症外来から陰圧室のある病棟へ 移動

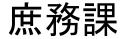
エレベーターで移動 ※病室までの間、 他者と接触することが ないよう配慮 移動時はサージカルマスク 咳き込む時はタオルで押さ え飛散を防ぐ



病室内で保健所職員が 積極的疫学調査実施

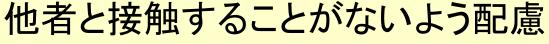
【場面4】PCR検査の結果判明~ 感染症指定医療機関への移送

PCR検査結果判明(陽性) 入院勧告・就業制限の実施





転院準備



※エレベーターの単独使用

※降りる階に他者がいないようにする





- ①停車位置(乗車場所)は、 外部より可能な限り見えない位置
 - ※保健所が指定する搬送車両



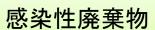


防護具の脱衣が出来る環境整備



脱衣スペース

脱衣方法の掲示



脱衣用イス





訓練前に、共通認識をしておく

- 訓練の内容が複雑な場合、口頭での説明では認識のずれが生じる
- 可能な限り文書や写真、図を使い提示する
- ・机上訓練や訓練の順路を一緒に歩く

プレイヤーごとのアクションカード

内科病棟 看護師。				
メンバー	病棟看護師長、看護師①(○○主任)、看護師②(○○主事)↩			
業務内容₽	●感染症外来への迎え ●内科病棟○○○号室への入室 ●内科病棟から救急隊控室横出口へ搬送♪			
開始時待	内科病棟↩			
機場所₽	※疫学調査班役(保健所○○医師、○○さん)と共に病棟待機↩			
必要物品+ + +	車いす 個人防護具1着(○○主事分) ディスポーザブルマンシェット 非鋭利感染性廃棄物用ダンボール			
		当日の流れ【配置図:場面4②、5①、5②、5③】↩		
15:00₽	₽	病棟 NS①は、車いす持参し、救急外来で防護具を半分着衣し、待機~		
₽	₽	看護師長は、病床担当より「新型インフルエンザ疑い患者入院受け入れ」の連絡を受け		
4	₽	る⇒看護師長は病棟 NS①の PHS へ連絡√		
4	4-2.1₽	看護師は、疑似症患者移動・受け入れのための動線を確保する↩		
4	₽	※病室扉閉鎖、動線上の器材・物品を可能な限り無くす↩		
Ą	4-2.2↔	病棟 NS①は、完全に着衣し、感染症外来前で引継ぐゼ		

- ・全体のシナリオ用紙から、該当する部分のみ集約
- ・【メンバー】【業務内容】【開始時待機場所】【必要物品】【当日の流れ】【配置図】

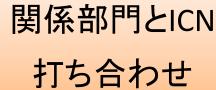
実践可能な方法で計画・準備

- 動線や配役、使用物品などより実践レベル で計画する
- ✓ 管理棟の患者が通行しない通路を利用
- ✓ 医師や看護師の人数
- ✓ 訓練においては、進捗報告だけの役割も必要
- ✓エレベーターの緊急搬送機能を活用

• 限りある資源を、工夫して活用する

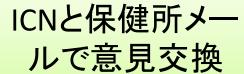
感染対策チーム等、複数名で 検討・準備をする

副院長・ICD・ICNと保 健所打ち合わせ





ICTからの意見 集約





ICNからICTへ進 捗報告

